

ニュースレター 三千里

Vol.02 2001.9

海外同胞と、平和統一を願う世界の人々と手を結んで・・・

三千里鐵道 〒440-0091 愛知県豊橋市下五井町青木31

Tel : 0532-53-6999 Fax : 0532-54-4931

Email : webmaster@sanzenri.gr.jp

web : http://www.sanzenri.gr.jp



去る6月17日、名古屋市公会堂大ホールにて南北共同宣言一周年祝祭『鐵馬は走りたい』が開催されました。ボランティア・スタッフあわせ約600名の参加者で、熱気あふれる集会となりました。

集会では韓国から6名（金槿泰、李富榮、李在禎、朴容吉、李鍾哲）と近藤昭一衆議院議員から発題を頂きました。本誌に3名の発題のみ掲載いたします。（ホームページではすべての方の発題および交流会での眞寛師の詩『私は見た』も、ご覧になれます。



李 富 榮
(ハンナラ党 副総裁
全民連常任議長)

皆様、本日、在日同胞と美しい日本の友人の皆様によって、朝鮮半島の京義線鉄道をつなげていく、そういった三千里鐵道の運動のこの催しにご参加させていただきましたことを本当にありがたく存じます。

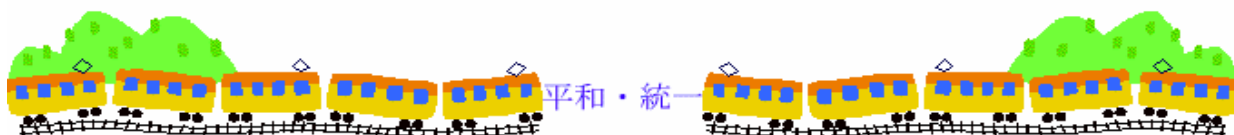
一時期、私たちの義兵または独立軍を討伐する日本軍を運ぶ鉄道の役割をしたこともあります。一時期はまた、半島から追い出され大陸へと連れられた哀れなわが同胞を運ぶ、そういった鉄道でした。また一時期は、緒戦戦争によって避難民と化したわが同胞を運ぶ鉄道でありました。

そして今、この鉄道が6.15南北共同宣言をきっかけに、私たちが在日同胞、また美しい日本の友人の皆さんの暖かい親善と友好を運ぶ鉄道として生まれ変わろうとしています。

そうして、日本と大陸を、またアジアとヨーロッパをつなぐ鉄道として生まれ変わることになりました。こうして、統一された我が祖国と世界の平和のために美しい和泉を運ぶ、そういった鉄道になるでしょう。

同胞の皆様、そして日本の美しい友人の皆様の暖かい心を、韓国国内にいる同胞に伝えたいと思います。

ありがとうございました。（拍手）





朴容吉 女史
(故文益煥牧師夫人 統一マジ会長)

15年ほど前に日本に来まして、いろんな場所で人を尋ね、また子どもたちの手を取り合って遊んだり、同胞の皆さんと接する機会があったんですが、非常にそのとき感じた喜び、温かさというのをこの場で再び感じるようで、皆さんに再会したような思いで非常にうれしく思います。

去年の6月15日は、韓国の人だけでなく、北なども含め全世界の人々が大いに喜んだ日でした。北の金正一委員長と韓国の大統領夫人イ・ヒョ女史が手を取り合って「我らの願いは統一」を歌っている姿を見て、涙がこみ上げて

南北を通して、歴史学者としてはただ1人その場に参加していたカン・マンギル教授は、その南北共同宣言を聞き、「もう死んでも心残りはない」と思ったと伝えています。そのように感じた人は1人、2人ではなく、皆がそうだったでしょう。それは天地が切り開かれるような出来事だったと私はとらえています。

その後、多くの変化がありました。離散家族が再開することができたり、あるいは北から来て韓国で長期囚としてとらわれていた63名の方々が北に再び帰ることができたこと、また離散家族が手紙を交換することなどが可能になりました。

その帰られた63名の方のうち、3名につきましては結婚を一度もしたことがない独身の方でしたので、北のほうに帰ってからは結婚をして新しい伴侶を迎えることができたり、また63名皆さんが新しい家に入って暮らしをはじめることができてきたそうです。

そして、もう1つ奇跡のようなことがありました。昨年10月12日、朝鮮労働党創建55周年の大会に韓国から42名の方が招かれ、その場に参加することができました。その祝典で行われました祝賀行事での動きだとかいうのは、私たちがこういう言い方をしたんですけれども、「あれは人間がやっているのではなくて、機械がやっているのではないか」と錯覚をするほど、完全無欠な乱れのない動きを示していました。数十万の人たちが、男女老少を問わず、ずっと踊り続けるんですが、踊っても踊っても終わらないように、ずっと数十万人の人が踊りつづけていました。そして、それを見ていたときに、私たちは観覧席のほうでその様子を見ていたんですが、「あの中におなかをすかせた人はいないだろうか」というような心配をしながら、また同時に一方では「あの踊りを私たち南北が一緒に踊るような形になればいいのに」という願いもまたわいてきました。

言いたいことはたくさんあるのですが、時間が本当に足りません。

1つ申し上げます。私たちが統一を実現するためには、変わらなければいけません。考え方を変えなければいけません。そして統一の準備、統一の練習をしなければいけません。

たとえば、人と会って話し合いをするとき、自分と意見の違う人がいたとしましょう。そのときに私たちは、自分の考え方を押し通そうとしがちなんですけれども、そうせずに、人の意見に耳を傾ける、そして譲る。そのことの中で「これは私は統一の練習をしているんだ。統一を進めていくために、その練習としてこういうふうに自分をちょっと譲ろう」と、そういった形で自分の考えを変えなければいけないんじゃないでしょうか。」(拍手)

名古屋ではじまったこの三千里鐵道運動、名古屋ではじまりましたが、これが日本全国に広がり、また世界全地域に広がっていき、1日も早く南北の鐵道がつながることを願っています。そのことを通して、私たちが自由に南北を行き来し、私がピョンヤンで見たようなあの楽しかったあのダンスをみんなで一緒に踊れるような日が1日も早く訪れることを心から願っています。



金 槿 泰（新千年民主党 最高委員民主化運動青年連合初代議長）

皆さんこんにちは。私は民主党に所属しています国会議員、キムグンテと申します。

先ほどの日本の民主党の近藤先生の紹介がありましたときに、皆様とても大きな拍手をしてくださったんですが、私も韓国の民主党の所属でありますので、同じ民主党ということで、皆さん大きな拍手で私を迎えていただけませんか？（拍手） ありがとうございます。

先ほど、すばらしいサムルノリを見せていただきまして、その後舞台の裏のほうで1人の中年の女性の方に、本当によかったですという話をいたしました。私は日本語ができないのですけれども、いくつかの言葉だけは聞き取ることができます。

私がそういう声をかけました時に、その女性が、「私は日本人です」というふうにおっしゃいました。この場には我が同胞の皆さんがたくさんお集まりだと伺っています。そして、同胞だけでなく、そのほかにも平和と民主主義の発展を願う日本の多くの市民の皆さんがお集まりいただいていることを知り、それをとても誇りに思っております。

同胞の皆様、そして名古屋地域の日本の市民の皆様、私たちお互いを励ましあうという意味で、大きく拍手をしようではありませんか。（拍手）

三千里鐵道、韓国語で「サムチョンリチョルド」というふうに口で音を出してみると、とてもリズムカルな音が響いてきます。三千里鐵道と声を出してみると懐かしさがしみてきます。この三千里鐵道運動は、朝鮮半島においてではなく、この名古屋の地の同胞の情熱と気持ちによって生まれてきました。この三千里鐵道運動が名古屋における日本の市民、そして日本全国に響いて広がっていくだろうことを私は信じております。

朝鮮半島には休戦ラインがあり、休戦ラインのまん中にはDMZがあります。DMZのまん中をつなごうとする同胞の皆様のこの三千里鐵道、必ず成功するでしょう。（拍手）

この場はいっぱいにはなっていませんが、本当に幼い子どもから青年、若者、そして大人、年配の方々までともに集まったこの場で、私は、過去、我々みんなが喉の詰まる思いで歌ってきた「我が願いは統一（ウリ・エ・ソウ・ヌ・トンイ）」と一緒に歌いたい気持ちです。

1年前に南北首脳会談、そして南北共同宣言が行われました。このことに対し、朝鮮半島には本当に胸の躍るような感動がありました。そして、日本また世界の平和と民主主義を愛する人々の中には連帯と発展が今後あるだろうという期待に満ちた思いがありました。

1年がたった今、その熱気は非常に冷めてきたと言えます。その背景としては、理由にはいくつかあるでしょう。アメリカにブッシュ政権が誕生し、強硬な政策を北に対してとるということもあるでしょうし、韓国内の与野党の政治的な争いもあるでしょう。また、北朝鮮の指導者が韓国の答礼の訪問をするということ戸惑っている、決断をできずにいるということなど、さまざまな理由があるかと思えます。

しかし、うまくいかなければいけませんし、うまくいこうと私たちは信じています。（拍手）

私たちは、今日こういうふうにソウルから来たなかには理由があります。こういうふう集まりまして、再びうまくやっっていこうと誓い合い、第2回目の南北首脳会談が行われるよう、またその首脳会談が定例化するよう、そしてそのことをもって朝鮮半島に平和が訪れ、アジアに平和が訪れるよう、そういうふうになっていくんだということを確認したいという思いから、このように参りました。

ヨーロッパにおきましては、1990年、ドイツ統一することによって冷戦の崩壊がやってきました。朝鮮半島では、しかしながら冷戦がいまだに続いています。この冷戦が克服されなければ、朝鮮半島に平和がこないままではアジアの平和もないでしょう。

皆様は三千里鐵道をこの地で活発に行われ、また私どもは韓国において第2回南北首脳会談が行われますよう、私たちも頑張りたいと思います。その日とともに準備しましょう。（拍手）

この名古屋にいる青少年、若い子どもたちが、名古屋を出発し、プサン、ソウル、ピョンヤン、そしてさらには中国の東北地方からシベリア、ヨーロッパへと行けるように、そしてそのことによりアジアの平和がヨーロッパの平和を発展させるよう、そして同時にヨーロッパの平和がアジアの平和、また朝鮮半島の平和を発展させることができるよう、そういった未来を私たち自身が主導的に準備し、これから取り組んでいきたいと思えます。今日ソウルに帰らなければいけません、皆さんの気持ち、志をソウルに届けたいと思えます。皆さん、お元気でお過ごしください。ありがとうございました。（拍手）

6.17祝祭では、三千里鐵道宣言が参加者全員で採択されました。

三千里鐵道宣言！

昨年の6月15日に発表された南北共同宣言は、祖国の同胞のみならず、約600万人の海外同胞にも未来にたいする大きな希望を与えた。

祖国南北の分断の克服、そして和解と統一は、わが同胞の宿願であるばかりではなく、東アジアはいうに及ばず、全世界の平和の象徴でもある。

このような視点から三千里鐵道は 南北の非武装地帯 4 Kmに鐵道を建設するための基金を募り、 海外同胞及び多くの人々が鐵道建設にたずさわった記念に平和記念モニュメントを建立することなど、統一に寄与する運動をすすめている。

鐵道建設が進められている非武装地帯には、世界でも有数な自然環境が残されている。その自然を守り、この地を祖国とすることがわれわれの念願である。

おもえば半世紀以上におよぶ祖国の分断は、在日同胞をはじめ海外同胞にも深刻な影響を与えてきた。在日100年の過酷な歴史の中で、「ウリナラは一つ」の夢を抱きつつ他界していった祖父母や父母たちの無念を、われわれは記憶している。

また、いまだ祖国からへだてられながらウリナラを求めていきつづけていく在日3世4世の氣球をわれわれは共にしている。

われわれは、自然がうたい鐵馬が走る非武装地帯にこそ海外同胞のふるさとを求めたいと考える。

きょう集會に集ったわれわれは、手を携えて三千里錦繡江山、鐵馬が走る日の為を力を尽くそう！

そして、「夢切符」を手に鐵馬に乗ろう！！

そして、「夢切符」を手に鐵馬に乗ろう！！

また、いまだ祖国からへだてられながらウリナラを求めていきつづけていく在日3世4世の氣球をわれわれは共にしている。

われわれは、自然がうたい鐵馬が走る非武装地帯にこそ海外同胞のふるさとを求めたいと考える。

6.17祝祭 決算報告

収入項目	収入金額	支出項目	支出金額
チケット前売り	86,000	会場借用料	341,900
チケット委託売上	790,000	映画上映費	1,530,840
チケット当日売上	332,000	看板制作費	42,000
JSAチケット売上	554,400	パンフレット制作費	60,000
物品販売費	53,850	印刷費	477,500
賛助広告費	1,120,000	物品購入費	28,945
		宿泊費	278,544
		謝礼費	80,000
		雑費	50,000
合 計	2,936,250		2,889,729

6.17祝祭ではたいへん多くの方々のご協力とご参加によって、成功裡に終わることができました。また決算報告がたいへん遅れましたが、上記のように46,521円の黒字となり、皆様にご報告申し上げます。

ニュースレターとともに、皆様方へのご報告が大変遅れましたことを心よりお詫び申し上げます。

今後とも、三千里鐵道へのご理解・ご協力を重ねてお願い申し上げます。